

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う ALPS 処理水の 海洋放出について

大日本水産会
令和5年8月25日

24日、ALPS 処理水の海洋放出が開始された。

東京電力福島第一発電所の事故については、すでに水産関係者の多くが被害を被っており、なかんずく、福島県の沿岸漁業者は未だ本格操業を開始できない状況にある。このような中での処理水の放出は、全国の水産関係者に影響を与えるおそれがあり、大日本水産会としては、全国漁業協同組合連合会が坂本会長名で出された8月22日の声明及び24日のコメントの思いを共有する。

現在も原発事故を契機とした輸入規制が多くの国で残されるなか、すでに水産物輸出について少なからぬ影響が生じており、今般の処理水の放出を機に、この規制をさらに強化する国も出てきている。政府においては、水産関係者に生じている、また今後生じるあらゆる影響について、極力これを排除し、将来にわたり万全の措置を講じられるよう強く求めるものである。